

国内家計最終消費支出（並行推計項目）の 需要側、供給側及び暦年コモ値の動き

(検討の観点) 家計最終消費支出の確報とQEの乖離（表1）には、QEにおける需要側、供給側推計値がどのように影響しているのか。

(結果) 国内家計最終消費支出（並行推計項目）の需要側推計値、供給側推計値と確報値（コモ値）の動きを比較すると、需要側、供給側の間で確報値（コモ値）との乖離の程度に差はみられない。

(表1) 家計最終消費支出の各年確報値と確報公表直前のQE値（暦年値）の比較

	確報値		直前（7-9月期1次）QE値		差（確報-QE）	
	名目	実質	名目	実質	名目	実質
13年	0.1	1.7	0.0	1.7	0.1	-0.1
14年	-0.5	0.8	-0.3	1.3	-0.2	-0.5
15年	-0.5	0.2	-0.6	0.8	0.1	-0.6
16年	1.2	1.9	0.9	1.5	0.3	0.4
17年	0.7	1.5	1.3	2.3	-0.6	-0.8

(実質値の直前QEは固定基準方式、
確報値は連鎖方式)

(基準改定)

(基準改定再推計)

(表2)

(前年比、%)

	名目							
	需要側 推計値	供給側 推計値	コモ値 (a)	コモ値 (b)	各項目-コモ値(a)		各項目-コモ値(b)	
					需要側 推計値	供給側 推計値	需要側 推計値	供給側 推計値
平成13年	-1.42	-0.15	-1.08	-0.84	-0.33	0.93	-0.58	0.69
平成14年	-0.94	-1.82	-1.87	-1.72	0.93	0.05	0.77	-0.10
平成15年	-1.61	-1.81	-1.56	-1.95	-0.05	-0.25	0.35	0.15
平成16年	0.07	0.07	0.77	4.88	-0.70	-0.70	-4.81	-4.81
平成17年	1.06	1.17	0.06	-0.23	1.00	1.10	1.29	1.40
平均	-0.57	-0.51	-0.74	0.03	0.17	0.23	-0.60	-0.54
標準偏差	1.00	1.16	1.00	2.50	0.68	0.69	2.19	2.20

	実質							
	需要側 推計値	供給側 推計値	コモ値 (a)	コモ値 (b)	各項目-コモ値(a)		各項目-コモ値(b)	
					需要側 推計値	供給側 推計値	需要側 推計値	供給側 推計値
平成13年	0.30	1.51	0.86	1.11	-0.56	0.66	-0.81	0.41
平成14年	0.98	0.09	0.05	0.22	0.92	0.03	0.75	-0.14
平成15年	-0.51	-0.66	-0.42	-0.89	-0.09	-0.24	0.38	0.23
平成16年	0.73	0.75	1.40	5.69	-0.68	-0.66	-4.96	-4.94
平成17年	2.44	2.43	1.22	0.93	1.22	1.21	1.51	1.50
平均	0.79	0.82	0.62	1.41	0.17	0.20	-0.63	-0.59
標準偏差	0.97	1.08	0.70	2.25	0.77	0.66	2.29	2.24

注)

- (1) 国内家計最終消費支出を構成する87目的分類から需要側と供給側を統合推計する並行推計項目を抜き出し、集計（実質値は連鎖方式で集計）。
- (2) 需要側及び供給側の計数は、当該年確報直前の7～9月期1次QE時の値。
コモ値は、確報公表時の値（16、17年）、または次々年7～9月期1次QE時の値（12～15年）。
- (3) コモ値(a)は前年確々報値に対する当年確報値の伸び率、コモ値(b)は前年確報値に対する当年確報値の伸び率。